

(別紙様式 2)

平成21年度
高大連携科目 シラバス

科目名	キリスト教史 A	受入可能人数	若干
大学名	聖トマス大学	担当教官名	竹田 文彦
		開 講 時 間	木 曜 日 2 時 限 (10 : 40 ~ 12 : 10)
学部名	人間文化共生学部	開 講 期 間	1 0 月 1 日 ~ 1 月 2 8 日
[講座の目標等]			
キリスト教は、歴史的な宗教であるといわれるが、それは、ただ単にキリスト教が長い歴史を有するということの意味ではない。キリスト教は、神が自ら人間となって歴史の中に介入し、人類の歴史の歩みを通して救いのわざを実現していくことを説く。キリスト教がすぐれて歴史的であるのはまさにこの点においてである。したがってキリスト教の歴史を学ぶことは、歴史のうちに働く神の救いのわざを学ぶことに他ならない。本講座では、この2000年にもおよぶキリスト教会のダイナミックな歩みを概観しながら、キリスト教の本質に歴史的観点から迫ろうとする試みである。			
[講座の内容・計画等]			
キリスト教史Ⅰ - 古代教会 2000年に及ぶキリスト教の歴史を一年ですべて講じることは不可能である。そこで本年度、A講座では、キリスト教史Ⅰとしてキリスト教の主要な教義などが形成された古代教会について論じる。取り上げるテーマは、使徒の宣教とキリスト教の広まり、使徒教父、異端と正統信仰、グノーシス主義、キリスト教弁証家、キリスト教とローマ帝国 - 迫害から公認へ、アレクサンドリア学派 - オリゲネスとクレメンス、三一論争とニカイア公会議、キリスト論論争とカルケドン公会議、修道生活の始まり、アウグスティヌスとラテン・キリスト教の形成など。			
[テキスト・教材・参考書等]			
[履修上の注意]			
2000年にも及ぶキリスト教の歴史を一年ですべて講じることは不可能なので、古代、中世、宗教改革期、近現代を数年かけて講じる。キリスト教史の全体像をつかむためにもできれば数年続けて講義に参加して欲しい。(ただし単位としては一年だけ履修すれば十分であり、二年目以降は単位にはならない。)			
[高校生へのメッセージ等]			